



2017年（平成29年）5月10日

相鉄本線（星川駅～天王町駅間） 下り線高架化による事業効果を調査 踏切遮断時間が19分、渋滞の長さが185m短縮

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）では、2017年（平成29年）3月5日に相鉄本線下り線の星川駅から天王町駅周辺の約1.8kmを高架化しました。

このたび、この高架化後に事業効果の調査を行ったところ、高架化前の1999年（平成11年）に実施した調査内容と比較した結果、各踏切での1時間当たりの遮断時間の最大値の平均が49分から30分になり、19分（約39%）短縮されました。また、自動車における1日当たりの渋滞の長さ（最大）の平均が275mから90mになり、185m（約67%）短縮され下り線高架化の効果が認められました。

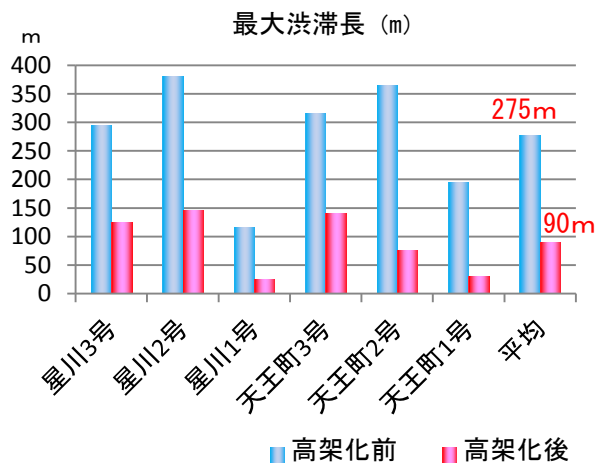
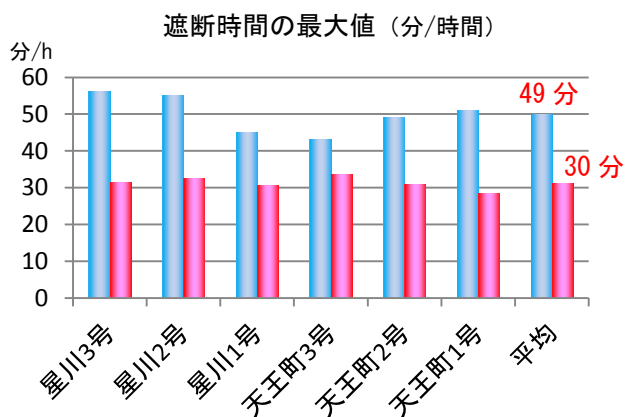
今後も2018年度（平成30年度）の上り線高架化を目指して鋭意工事を進めるとともに、「選ばれる相鉄グループ」、「選ばれる沿線」を目指し、相鉄線沿線の一層の発展のために貢献していきます。

なお、この工事は、横浜市の都市計画事業として進めている「相模鉄道本線（星川駅～天王町駅間）連続立体交差事業」の一環として行っているもので、事業が完了すると周辺の9箇所の踏切が除却され、交通の円滑化による都市機能の充実が図られます。

概要は、別紙のとおりです。



下り線が高架化された星川2号踏切付近



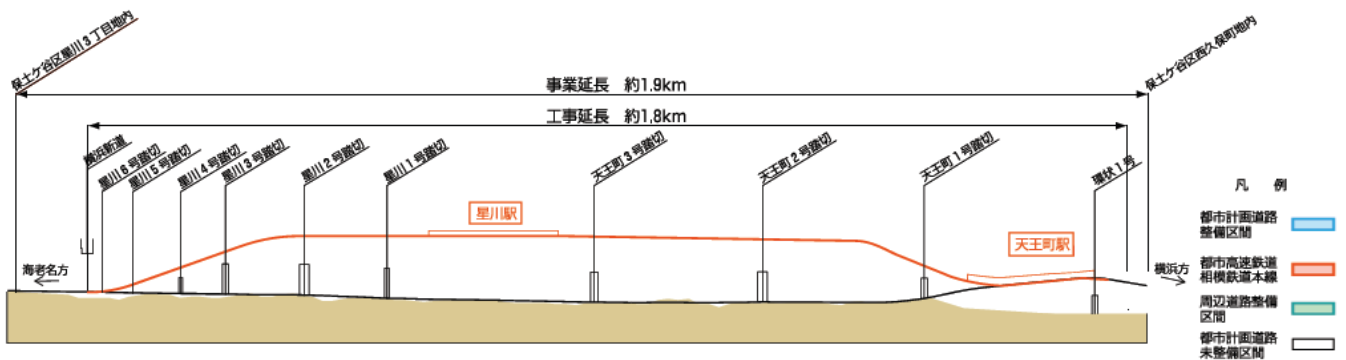
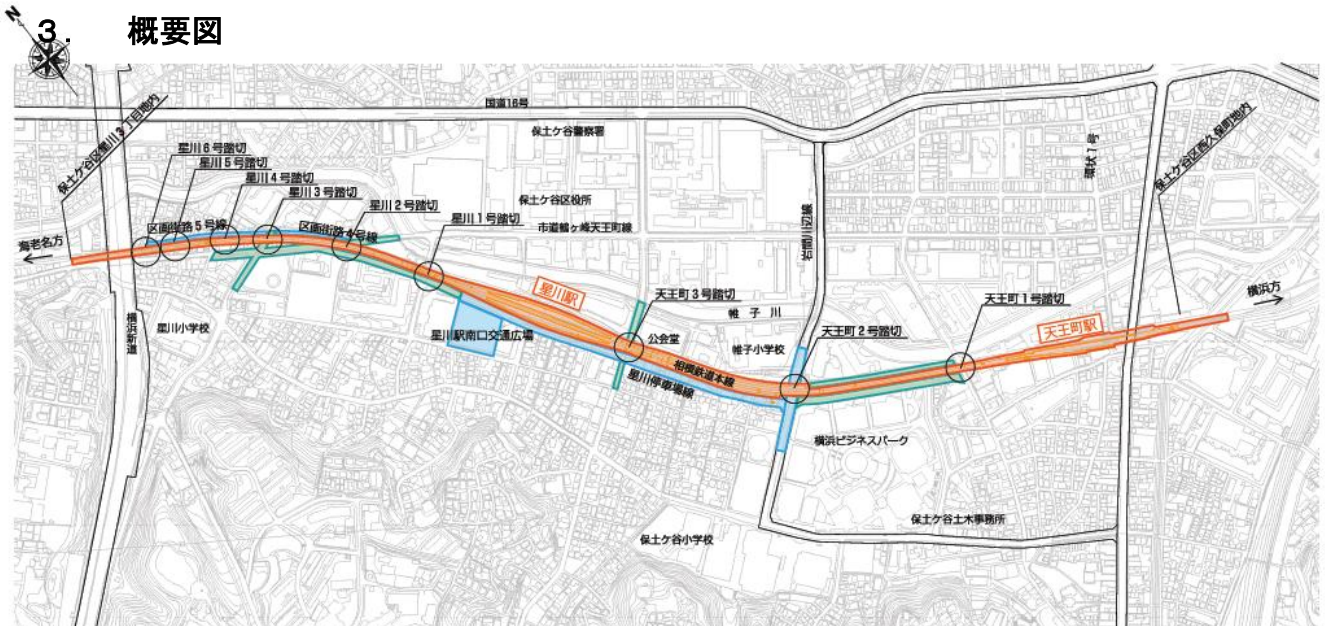
1. 相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業の概要

- (1) 事業名 相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業
- (2) 事業者 横浜市
- (3) 施行者 横浜市・相模鉄道株式会社
- (4) 工事延長 約1.8km
- (5) 経緯と予定

都市計画決定	2002年	(平成14年)	6月5日
都市計画事業認可	2002年	(平成14年)	9月13日
下り線高架化	2017年	(平成29年)	3月5日
上り線高架化	2018年度	(平成30年度)	(予定)

2. 下り線切り替え工事の概要

- (1) 切り替え区間 天王町駅付近～星川6号踏切付近
- (2) 高架された駅 1駅（星川駅）



「SOTETSUあしたをつくるPROJECT」とは・・・

相鉄グループ創立100周年とその先の都心直通運転に向けて、沿線内外の方にもっと相鉄グループのことを知っていただき、もっと親しみを感じていただくためにグループ各社や沿線事業者、沿線住民を巻き込んで、「住みやすい沿線になるための活動」と「JR・東急線相互直通運転のメリット」を発信していく取り組み。